

# 新潟日報

2016年(平成28年)  
6月8日  
水曜日



佐渡市西三川にある酒蔵「学校蔵」で4日、ワークショップ「学校蔵の特別授業」が開かれた。日本総合研究所(東京)の首席研究員・藻谷浩介さんら識者3人が、高校生や企業関係者ら幅広い世代と対話し、佐渡の未来について考えた。

## 島の将来像 楽しく学ぶ

学校蔵は旧西三川小学校の校舎を尾畑酒造(真野新町)が利用し、2014年に酒造りを開始。特別授業は交流事業とし

て3年連続の開催で、島内外から約1000人が参加した。

「里山資本主義」の著者として知られる藻谷さん、東京大学社会科学研究所教授の玄田有史さん、ライフネット生命(東

発表した。また佐渡高校の9人は「佐渡に大学を創設する」と提案。観光に関する学部をつくり、観光業の立て直しや人口減に歯止めをかけるべきだと主張すると、会場から拍手が起こった。

### 西三川の「学校蔵」

### 高校生らと対話

京)会長兼最高経営責任者の出口治明さんが、テーマを設けて話し合った。3人の軽妙なやりとり、教室は何度も笑いに包まれた。

地方での起業について取り上げた時間は、島内の創業経験者らが体験を

藻谷浩介さん(右から2人目)の質問に手を挙げる「学校蔵の特別授業」の参加者。4日、佐渡市西三川

人が集まり、起業の話や聞いたり問題を共有できたりして刺激になった」と話した。